

時間 (目安)	スライド	内容(塊)	メモ(運用イメージ)
0~8分	01-04	導入→前回疑問→調査設計→今日やること	ストーリーで目的を固定。「今日は30人データで“全体像を読む”」。演習①へスムーズに切替。
8~25分	05	演習①：基本統計量(平均・中央値・最小・最大)	実習時間を確保(15~17分) 。最後3分で「平均と中央値の差」「最大最小の距離」を口頭回収。
25~30分	06	問い合わせ：平均だけで評価できるか？	ペアで1分→数名発言。ここは短く「違和感」を作る役。
30~45分	07	演習②：ヒストグラム作成	実習時間(12~15分) 。 bin幅調整があるので詰まりやすい。全体で「幅=2、下限110」等を統一指示。
45~52分	08	分布の導入(用語化)	演習②のグラフを見ながら「集まり方=分布」を言語化。数式なしでOK。
52~60分	09-10	分布を見る視点：中心→広がり	09で平均/中央値の位置、10で広がりと安定性。各スライドで1問ずつ指名質問。
60~67分	11	平均と分散：グラフで“姿”を比較	画像を使って「平均が同じでも違う」を強化。分散は“山の太り具合”程度で止める。
67~75分	12	演習③：外れ値(行)を特定し文脈を見る	実習時間(7~8分) 。並べ替え→上位/下位の行→メモ確認。測定ミス/状況の仮説を1つ書かせる。
75~84分	13-14	演習④：曜日別ピボット→演習⑤：学生ID別ピボット	実習時間(9~10分) 。ピボット操作で詰まるので「作り方は同じ、置くフィールドだけ違う」と強調。早い人は考察(混ざりの説明)を書かせる。
84~88分	15-16	まとめ：分布を読む3視点→本日のまとめ	①~⑤を「中心・広がり・混ざり」に整理して回収。学生に一文で言わせる。
88~90分	17	次回予告(確率へ)	今日のヒストグラムが次回の出発点、で締める。